おのまち

社協だより

2016
9/26
Vol.52

秋風に揺れるすすきと
磐越東線

小野町総合防災訓練
平成28年9月11日(日)

町民の防災に関する知識と意識の向上を目的に小野町運動公園において小野町総合防災訓練が実施されました。

当協議会では、炊き出し訓練及び緊急避難所開所訓練に参加しました。

参加者の皆様大変お疲れ様でした。

おのまちあったかサロン紹介

百々寿サロン

百々寿サロンは、雁股田地区の皆さん（会員25名）が毎週水曜日にグランドゴルフを楽しみながら手作り料理を持ち寄り、楽しい時間を過ごしております。

えびす会

えびす会は、吉野辺早渡地区の皆さん（会員10名）が毎月20日に地区集会所で手作り料理を持ち寄り、にぎやかに楽しく活動されております。7月は認知症の予防について皆さんで勉強会を行いました。

福祉基金・資金貸付事業

・福祉基金（主体　小野町社会福祉協議会）
小野町に居住する低所得世帯に、無利子・無担保で貸付を行います。
貸付上限額は100,000円以内

・生活福祉資金（主体　県社会福祉協議会）
福島県に居住する低所得世帯に貸付を行います。

貸付内容

・失業により再就職するまでのつなぎ資金
・自立のための一時的な資金
・緊急に生計が困難となった場合
・学校にかかる費用　　等

善意のご寄附ありがとうございました

『社会福祉のためにお役立てください』と、社会福祉協議会に対し多くの方々より多額のご寄附をいただきました。お寄せいただいた浄財は、社会福祉事業の資金として役立たせていただきます。今回は平成28年5月から平成28年8月までにご寄付いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。（敬称略）

篤志（社会福祉のために）

長谷川耕二（西会津町）　篤志（故叔母　吉田　キヨ）

郡山ヤクルト販売（株）
代表取締役 長谷川　進　篤志（社会福祉のために）

郡山ヤクルト販売（株）

遺志（社会福祉のために）

二瓶　賢一	（荒　町）	（故母　二瓶トミ子）
郡司　嘉彦	（小戸神）	（故父　郡司房之助）
國分　幸夫	（小戸神）	（故父　國分　源一）
三本松高夫	（小戸神）	（故母　三本松カツヨ）
小野　茂	（雁股田）	（故母　小野カツ子）
西牧　拓也	（中　通）	（故義父 三本松武男）
岡田　佳彦	（荒　町）	（故父　岡田　亘弘）
生天目昭夫	（大　八）	（故母　生天目キヨ子）
村上　一	（飯豊下）	（故母　村上千恵子）
根本シメ子	（夏　井）	（故夫　根本　高利）
藤井　正義	（本　町）	（故父　藤井　正夫）
會田　久雄	（本　町）	（故父　會田　則義）
遠藤　明夫	（浮　金）	（故母　遠藤美代野）
佐藤　正夫	（湯　沢）	（故母　佐藤キクエ）
小野　一男	（雁股田）	（故母　小野キミヨ）
羽生　久男	（飯豊上）	（故母　羽生キミヨ）
吉村　力	（皮籠石）	（故父　吉村　智）
矢吹　和明	（小野赤沼）	（故祖母 矢吹　ヨツ）
長窪　宇市	（飯豊上）	（故母　長窪トクヨ）
松本　重夫	（湯　沢）	（故母　松本　アキ）
郡司　敏昭	（小戸神）	（故弟　郡司　嘉彦）
宗像　幸松	（浮　金）	（故祖母 宗像　キヨ）
吉田　昌平	（谷津作）	（故父　吉田　武夫）
近内　治	（飯豊上）	（故兄　近内　行男）
島田　篤史	（仲　町）	（故父　関口　輝雄）
永山　一悳	（夏　井）	（故父　永山　徳三）
長久保照雄	（浮　金）	（故妻　長久保ミツ）
松本　稔城	（夏　井）	（故伯父 松本　義明）
村上　裕章	（小野赤沼）	（故父　村上　彰）
高﨑　光浩	（本　町）	（故母　高﨑　ナオ）
柏原　精一	（大　八）	（故母　柏原ヒサノ）
早房　利勝	（谷津作）	（故父　早房　實）
山田　義和	（反　町）	（故母　山田チヨ子）
草野　幸夫	（皮籠石）	（故兄　草野　精夫）
北里　浩一	（仲　町）	（故父　北里　利光）

あんしんサポート（日常生活自立支援事業）

あんしんサポートって何？

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、日常生活上の判断に不安のある方を対象に、地域において自立した生活が送れるよう、金銭管理及び福祉サービスの利用援助等を行う事業です。

どんな支援をしてくれるの？

・福祉サービスの利用援助

福祉サービスに関する情報提供、支払いの手続きなど、安心してご利用できるようお手伝いします。

・日常的金銭管理サービス

生活に必要なお金の出し入れや、公共料金等の支払いをお手伝いします。

・書類等の預かりサービス

通帳や印鑑など、大切な書類を安全な場所でお預かりします。

相談したいときはどうすれば？

相談方法　月曜日～金曜日　午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分
電話や窓口による相談を行います。

相談から契約までは無料です。契約してからの利用料は 1 時間あたり 1,200 円となります。
支援は社会福祉協議会の生活支援員がお手伝いします。お気軽にご相談ください。

社会福祉法人小野町社会福祉協議会
TEL 0247-72-6866　FAX 0247-71-0471
福島県田村郡小野町大字小野新町字美売 57-1

第26回サマーショートボランティアスクールを開催
（7月25日～8月22日）

夏休みの期間を利用して高校生の皆さんにボランティア活動を体験していただく「サマーショートボランティアスクール」が今年も行われました。

町内の福祉施設にご協力を頂き、一人三日間の活動で、創作活動、食事や入浴介助、環境整備、共同作業などボランティアが行われ、緊張や戸惑いの中、それぞれが目標達成に向け、真剣に取り組む姿が見られました。

受け入れていただきました施設の皆様、ご協力ありがとうございました。また、ボランティアをされた高校生の皆さん、お疲れ様でした。

参加者活動感想文より

今回の体験で自分の知らなかったことをたくさん知ることができました。介護のボランティアの経験を通して、人の笑顔を見られることに喜びを感じました。人のそばで、直接ふれ合い支えていく介護職に就きたいと強く思いました。

特別養護老人ホームこまち荘
小野高等学校　1年　田中　七星

お互いのコミュニケーションがとれているとよりよい介護につながると思います。これからはたくさんコミュニケーションをとって一人でも多くの方に名前を憶えていただくとともに私も利用者の方を早く覚えたいと思います。

特別養護老人ホームさくら
小野高等学校　1年　枡内　美紗紀

初めての施設での活動ということで、とても緊張し不安もありましたがスタッフの皆さんと利用者の皆さんが優しく教えてくれたり、楽しくお話してくれたことで、不安や緊張も消えてリラックスして活動することができました。

機能訓練センターさくら
小野高等学校　1年　渡辺　麗葉

施設へ行ってみると今までのイメージとは違い、とても明るい利用者の方が多く、私に話しかけてくれたのでとても嬉しかったです。三日間の体験を今後に活かしたいと思います。

こまち作業所
小野高等学校　1年　郡司　一毅

初めはとても不安でしたが、利用者の方々を見ていると明るい気持ちになり、不安が少しずつ無くなりました。サマーショートボランティアに参加して、とても勉強になり、明るく笑顔でいることができたと思うので良かったです。

こまち作業所
小野高等学校　2年　郡司　沙夜加

緊張しましたが、楽しいレクリエーションなどを利用者さんと楽しむことができました。また、色々な利用者さんと話すことができました。私は将来グループホームで働きたいなと思いました。

さくらんぼ
小野高等学校　1年　小林　綾奈

目が見えない、耳が遠い、いろんな方との接し方を職員の方に教えてもらうことにより、将来介護の職に就いた時役立つ情報が豊富だった。私のような若い人たちがこの職に就き、介護人数を増やしていけたらと思う。

さくらんぼ仲町
小野高等学校　1年　小野　愛望

施設で実施された夏祭りはとても貴重な体験になりました。準備から運営まで関わらせていただきましたが、夏祭りに参加した全ての人が笑顔で帰っていく姿を見て、地域の人々にとても愛されているのだということを肌で感じました。

JAさくらは～とらいふ小野
小野高等学校　3年　横田　穂乃佳

将来私が、自分の信念の言葉や、「ありがとう」の暖かさを、今度は教えることができるような人になるために、「ありがとう」と心から言ってもらうことができるように、何があっても絶対あきらめないで、努力し続けていく。

デイサービスセンター小野
安積黎明高等学校　1年　上遠野　萌恵

小野町ボランティアセンター通信

ボランティアセンター主催事業「救急法講習会」

平成28年7月3日（日）当協議会ボランティアセンター主催により日本赤十字社福島県支部救急法指導員葛西梅太郎氏を講師に招き、AEDを用いた救急法や三角巾を使った怪我や捻挫の応急処置の方法などについて講話を行いました。

参加者の方からは、「初めての参加でしたがとても勉強になりました。経験を生かしていきたいと思います。」と高評価をいただきました。ありがとうございました。

小野町日赤奉仕団すみれ会　視察研修

平成28年7月13日（水）小野町日赤奉仕団すみれ会さんが宮城県名取市閖上地区を視察研修しました。

沿岸部を移動しながら案内ガイドによる震災時の状況及び復興状況についての話がありました。

参加者からは「震災時や、復興に向け奉仕団は何をすべきかを改めて考える良い機会となりました。」などの声もあり、有意義な研修となりました。

ボランティア活動紹介

ボランティア活動を始めたい方、すでに活動をしている方のボランティア登録の受付を随時行なっています。
困ったことがあれば是非ボランティアセンターにご相談ください!
皆さんのペースに合わせて活動ができるよう調整をいたします。

デイサービスセンターだより

小野町老人デイサービスセンターでは6月から8月にかけて様々な行事を行ってまいりました。
その一部をご紹介いたします。

小野新町小学校来所(6/2)

小野新町小学校の1年生が来所され、「歌」「ダンス」を披露してくれました。利用者の皆さんには手作りのメダルをプレゼントしていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

野外昼食会(6/13～6/16)

屋外にパラソルとテーブルを準備して、豚汁とおにぎりなどを食べました。天気にも恵まれ、風を感じながらみんなで昼食を楽しみました。

笹飾り作り(7/1～)

七夕にむけて利用者の皆さんと一緒に笹飾りをしました。短冊に願い事も書きました。願いが叶いますように…。

夏まつり(7/18～7/23)

当センターでは毎年夏まつりを企画しています。今年の夏まつりは的当て、ヨーヨー釣りの他に綿あめ、たい焼きを作り、利用者の方に楽しんでいただきました。「久しぶりに綿あめを食べた～。」と言う利用者の方も多く、とても喜ばれていました。

アイスバーガー(8/22～8/25)

地元のグルメを味わう為、丸忠ストアさんにご協力いただき、アイスバーガーをおやつに食べていただきました。初めて食べたという方も多く、とても喜ばれていました。「やわらかくておいしい。」「冷たくてうれしい。」などの声が聞かれました。

イベント食(8/29)

刺身、焼き魚、天ぷらのメニューから好きなものを選んでいただく選択食を実施しました。一番の人気メニューは刺身定食でした。

作品紹介《ぬりえ》

遠藤金光様　作

村上静雄様　作

～赤い羽根共同募金にご協力をお願いします～

地域の福祉活動を応援する募金『赤い羽根』

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されます。

赤い羽根共同募金は、社会福祉法に基づいて全国一斉に行われる、地域福祉の推進を図るための募金運動です。昨年の共同募金運動では、小野町全体で2,329,479円のご協力をいただき、学校や団体などの福祉活動に役立たせていただくことができました。誠にありがとうございました。

今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

共同募金Q&A

Q. 赤い羽根共同募金とは、どういう募金なの？

A. 赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動を支える募金です。

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉活動を進めるための資金を、寄付という形で広く募る募金運動です。戦後間もない昭和 22 年に始まり、今年で 70 回目を迎えます。

社会福祉施設・団体への機器整備や事業費の助成、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など、民間の社会福祉事業を支える大きな力となっています。

Q. どうして「赤い羽根」がシンボルマークなの？

A. 赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」 のシンボルです。

赤い羽根は、むかしから世界中で、勇気や良い行いのしるしとして使われてきました。イギリスのロビンフッドや、アメリカの先住民族も、赤い羽根をつけていました。

Q. 税金を払っているのに、なぜ、共同募金をする必要があるの？

A. 共同募金は、ニーズに対し迅速に柔軟に対応できる、民間福祉活動の財源です。

行政では、私たちの税金で公平に効率的に、社会福祉の対象者にも、不公平にならないように施策を行っています。行政の施策の基本は、法律や条例などにより定められ、公平に行われています。逆に言えば、新しい要望や予想外の状況に臨機に対処できない場合が多いのです。

ところが社会福祉の現場では、日々その対象がかわり、できるだけ早く実情に即したさまざまな活動が必要になります。そうした場合、臨機応変に動けるのが「民間」です。

それが民間のよさであり、民間の特質である迅速性、柔軟性、先駆性、開拓性です。そのための財源として、共同募金は欠かすことができないものです。

昨年の赤い羽根共同募金などにより助成を受けた団体を紹介します。

共同募金についてのお問い合わせは
小野町共同募金委員会
（小野町社会福祉協議会内）
小野町大字小野新町字美売 57-1
TEL.0247-72-6866
FAX.0247-71-0471
へどうぞ

社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

発行　社会福祉法人小野町社会福祉協議会
〒963-3401　福島県田村郡小野町大字小野新町字美売57-1
TEL.0247-72-6866　FAX.0247-71-0471
maiiono-shakyo@sunny.ocn.ne.jp

ひまわりを植えました♪

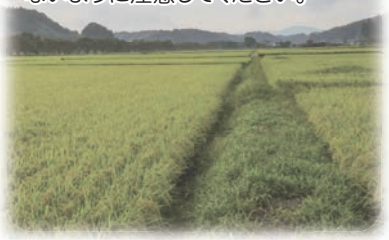
今年の夏はデイサービスセンターの利用者の皆さんとひまわりを植えました。
８月には大輪の花を咲かせ、施設を明るく彩ってくれました。

作品紹介のコーナー

デイサービスセンターの利用者さんから提供いただき、
施設内にて展示しております。

編集後記

９月も終わりに近づき、朝晩の冷え込みが厳しくなってまいりました。皆さん体調はいかがですか？
季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、衣類調整や栄養・睡眠をよくとって風邪をひかないように注意してください。



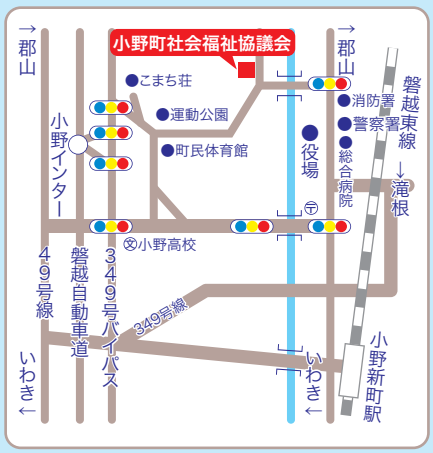
社会福祉法人小野町社会福祉協議会
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町
字美売57番地１
TEL 0247-72-6866　FAX 0247-71-0471

○小野町ボランティアセンター
TEL 0247-72-6866　FAX 0247-71-0471

○小野町老人デイサービスセンター
（指定居宅サービス事業所）
TEL 0247-72-6777　FAX 0247-72-6790

○小野町在宅介護支援センター
（指定居宅介護支援事業所）
TEL 0247-72-6377　FAX 0247-71-0471

○小野町指定相談支援事業所
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111
TEL 0247-61-6101　FAX 0247-61-6102



小野町社会福祉協議会では個人情報保護法に関して適用されている法令、国が定める方針その他の規範を遵守し、保有する個人情報の保護に努めます。